

平成31年1月～3月期
地域産業経営動向調査
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関
堺 商 工 会 議 所 〕

調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数D I 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所800社（建設業200社・製造業200社・卸売業100社・小売業100社・サービス業200社）
3. 調査期間 平成31年3月15日（金）～平成31年3月29日（金）
4. 回収率

	調査対象数	回収数	回収率
建設業	200社	104社	52.0%
製造業	200社	104社	52.0%
卸売業	100社	50社	50.0%
小売業	100社	52社	52.0%
サービス業	200社	100社	50.0%
全産業	800社	410社	51.3%

【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- D I 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

【各項目別のD I 値の意味について】

- 業況判断 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … D I 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

調査結果の概観

今期(1月～3月期)の前年同期比を見ると、雇用人員は改善、資金繰りはやや悪化、業況判断、売上高及び採算は悪化となった。

来期(4月～6月期)の予測については、業況判断は改善、雇用人員はやや改善、採算及び資金繰りは横ばい、売上高はやや悪化となっており、引き続き市内中小企業の動向については、注視していく必要がある。

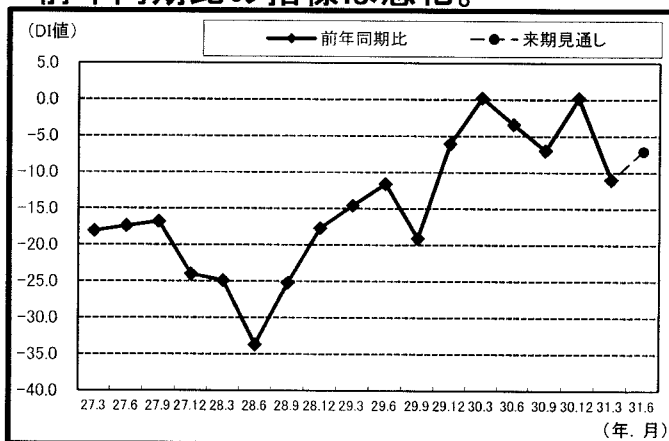
1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標は悪化。
(0.2⇒△11.0)

・来期見通しの指標は改善と予測。
(△11.0⇒△7.1)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は改善。製造業、卸売業、小売業及びサービス業は悪化。

・前年同期比の指標は悪化。



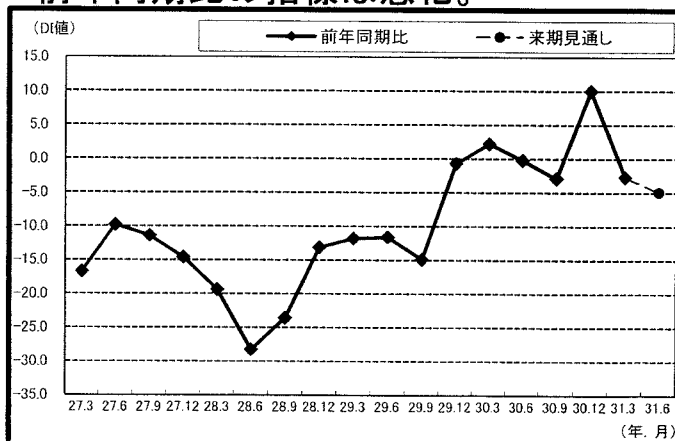
2. 売上高の動向

・前年同期比の指標は悪化。
(10.0⇒△2.7)

・来期見通しの指標はやや悪化と予測。
(△2.7⇒△4.9)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は改善。製造業、卸売業、小売業及びサービス業は悪化。

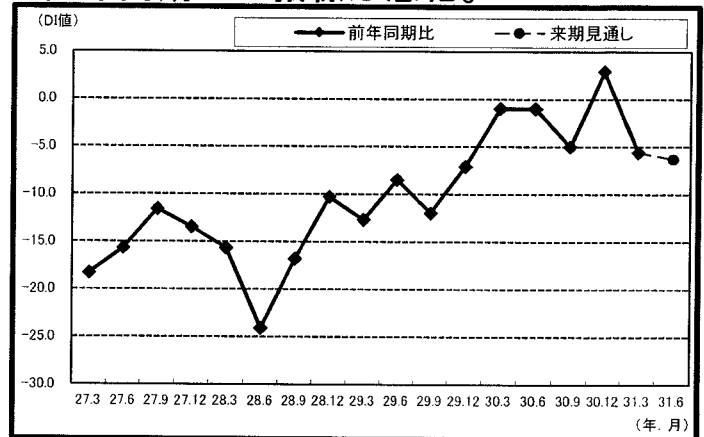
・前年同期比の指標は悪化。



3. 採算の動向

- ・前年同期比の指標は悪化。
(2.9⇒△5.6)
- ・来期見通しの指標は横ばいと予測。
(△5.6⇒△6.3)
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は改善。サービス業は横ばい。製造業、卸売業及び小売業は悪化。

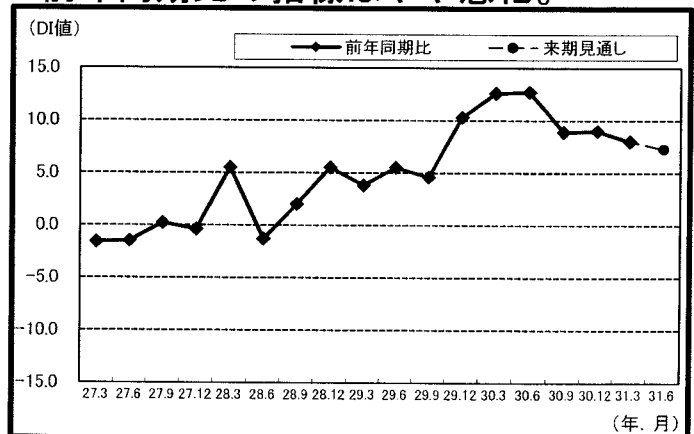
・前年同期比の指標は悪化。



4. 資金繰りの動向

- ・前年同期比の指標はやや悪化。
(9.0⇒8.0)
- ・来期見通しの指標は横ばいと予測。
(8.0⇒7.3)
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、小売業は2期連続で改善。建設業及び卸売業は改善。サービス業はやや悪化。製造業は2期連続で悪化。

・前年同期比の指標はやや悪化。



5. 雇用人員の動向

- ・前年同期比の指標は改善。
(△4.0⇒△1.0)
- ・来期見通しの指標はやや改善と予測。
(△1.0⇒1.5)
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業及び製造業が改善。卸売業及びサービス業は横ばい、小売業は悪化。

・前年同期比の指標は改善。

